

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第1区分

【発行日】平成30年7月12日(2018.7.12)

【公表番号】特表2017-514479(P2017-514479A)

【公表日】平成29年6月8日(2017.6.8)

【年通号数】公開・登録公報2017-021

【出願番号】特願2016-564990(P2016-564990)

【国際特許分類】

C 12 N 15/09 (2006.01)

A 61 K 31/7088 (2006.01)

A 61 K 48/00 (2006.01)

C 07 H 21/04 (2006.01)

A 61 P 35/00 (2006.01)

A 61 P 35/02 (2006.01)

【F I】

C 12 N 15/00 Z N A A

A 61 K 31/7088

A 61 K 48/00

C 07 H 21/04 A

A 61 P 35/00

A 61 P 35/02

【誤訳訂正書】

【提出日】平成30年6月4日(2018.6.4)

【誤訳訂正1】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0327

【訂正方法】変更

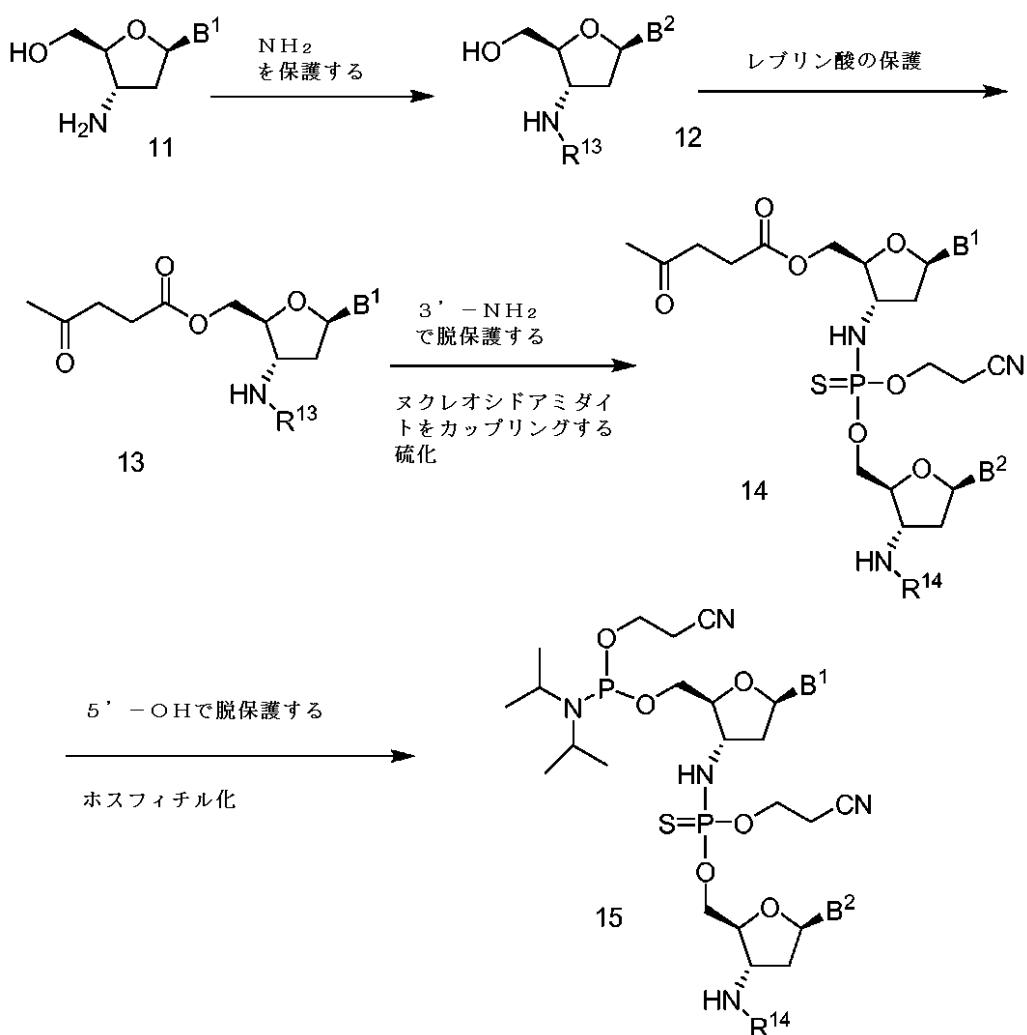
【訂正の内容】

【0327】

単量体17の特定の実施形態では、R<sup>17</sup>はジメトキシトリチル(DMT)である。単量体17の特定の実施形態では、R<sup>17</sup>はピキシルである。二量体18～20の特定の実施形態では、R<sup>17</sup>はトリチル(Trt)である。二量体18～20の特定の実施形態では、R<sup>17</sup>はモノメトキシトリチル(MMT)である。二量体18～20の特定の実施形態では、R<sup>17</sup>はジメトキシトリチル(DMT)である。二量体18～20の特定の実施形態では、R<sup>17</sup>はピキシルである。

一部の実施形態では、式(III)及び(IV)の二量体は以下のスキーム：

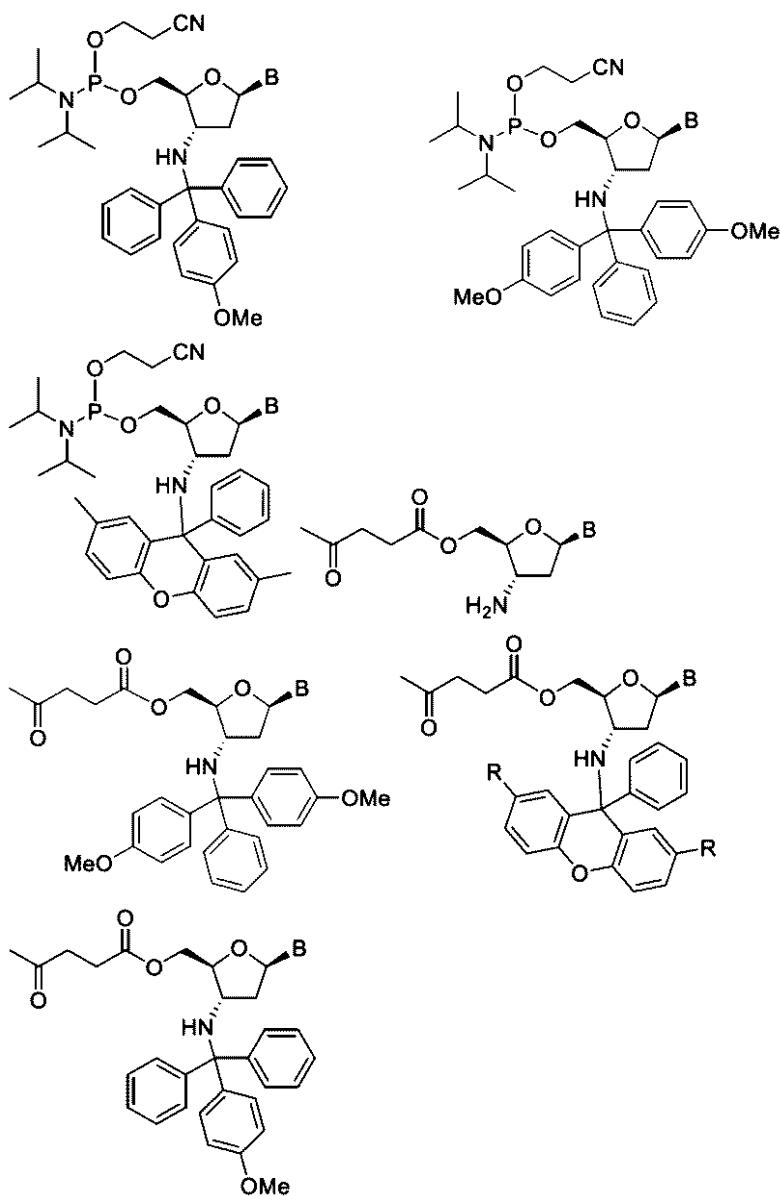
## 【化14】



で描かれた方法を介して調製され、その際、単量体 13 は単量体 12 を介して 11 から調製され、ヌクレオシドアミダイトとカップリングさせて二量体 14 を生じ、それを二量体 15 に変換する；その際、 $\text{B}^1$  及び  $\text{B}^2$  はそれぞれ独立してプリン、保護されたプリン、ピリミジン、または保護されたピリミジン、またはその類似体であり； $\text{R}^{13}$  及び  $\text{R}^{14}$  はそれぞれ独立して保護基である。単量体 12 及び 13 の特定の実施形態では、 $\text{R}^{13}$  はトリチルである。単量体 12 及び 13 の特定の実施形態では、 $\text{R}^{13}$  はピキシルである。二量体 14 及び 15 の特定の実施形態では、 $\text{R}^{14}$  はトリチルである。二量体 14 及び 15 の特定の実施形態では、 $\text{R}^{14}$  はジメトキシトリチルである。二量体 14 及び 15 の特定の実施形態では、 $\text{R}^{14}$  はモノメトキシトリチルである。二量体 14 及び 15 の特定の実施形態では、 $\text{R}^{14}$  はピキシルである。

本明細書で記載される方法に従って対象のジヌクレオチド二量体の調製で使用される対象とする単量体には、

【化 1 5】



が挙げられるが、これらに限定されず、式中、Bはプリン、保護されたプリン、ピリミジン、または保護されたピリミジン、またはその類似体であり、Rは水素またはアルキル（たとえば、メチル）またはハロゲン（たとえば、プロモ）である。特定の場合では、BはA(Bz)、G(iBu)、T、A(DMF)、C(Bz)、またはUから選択される。